



少ない」ことを認めたものの、「労働局・府市連携で取り組む」と独自の対策を打てない京都市の姿が明らかにになりました。引き続き、若者支援の声を高め、京都市を動かすため全力でがんばります。

LD Aのみなさんと一緒に、給付制奨学金制度の創設とブラックバイト対策の充実を直接求めました。給付制奨学金について、副市長は「国が対策すべき」と今までと同じ態度に終始しました。ブラックバイトについては、「公への相談が

京都市は本気で若者支援に取り組むべき

職員削減をどこまでも続ける京都市。10年間で123人の消防職員の削減と、政令指定都市で一番減らしています。大宮消防出張所廃止や消防職員の削減は消防力低下の最たるもの。質と、副市長は「今までと同様の消防体制は維持できる」と強弁。引き続き、いのちを守る消防職員の削減の撤回をがんばります。

止めどもない消防職員の削減は撤回を



市長総括質疑に立ちました

消防職員の削減やめよ

一日乗車券の値上げストップへ

閉会本会議、公営企業特別会計予算の討論に立ちました

一日乗車券が値上げに!?

交通局からは、市民の方々も利用されている一日乗車券の値上げを検討し、秋には値上げに踏み切る提案がされています。この点も含めて、バス事業における問題点を指摘し、反対の立場を明確にしました。



予算特別委員会での実績

この間、求めてきた

東西線における安全対策で前進

2月の半ばには点字プレートの設置がされ、視覚障害をお持ちの方が、ホームで何両目の



どこにいるのか現在地が分かるようになりました。また、今年度早々に、同じく東西線点字ブロックの改善が行われ、これまで車両の違いで電車に乗ることができなかった方も乗れるようになります。

鉛製給水管取替の宅地内の助成上限が引き上げに

決算委員会で求めた、宅地内の鉛製給水管取替の助成額の上限引き上げ(5万円↓10万円)が、新年度予算の中に盛り込まれました。



ひらいよしひと

平井良人

日本共産党
京都市会議員